



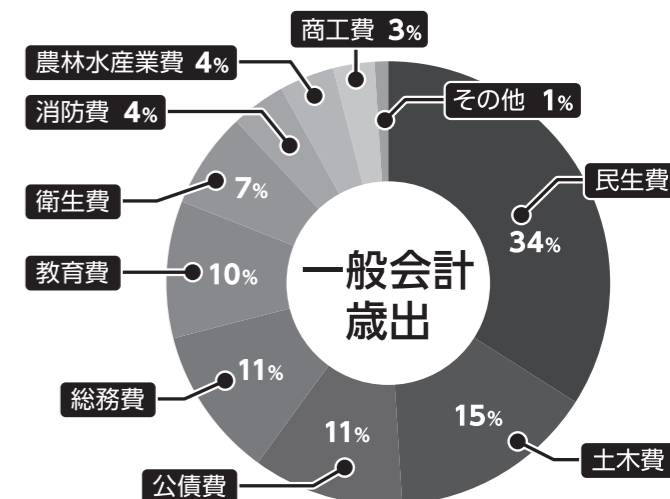
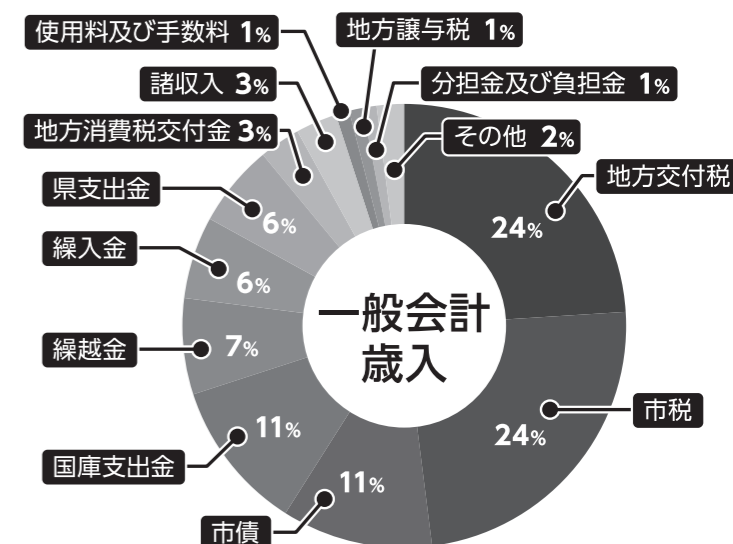
# 平成28年度決算をチェック お金の使い道を 審査しました

市長は、翌年度予算を決める3月定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査を受けなければなりません。9月11日から13日までの3日間にわたり決算審査特別委員会を開催し、皆さんが納めた税金がどのように使われたかを審査しました。審査の結果、全ての決算が認定されました。

**一般会計 決算額**  
**335億7,050万円**

**特別会計 決算総額**  
**227億5,843万円**

**企業会計 決算総額**  
**36億3,784万円**



一般会計		特別会計		企業会計	
335億 7,050万円					
国民健康保険事業	121億 1,171万円	水道事業	収益的支出 17億 304万円 資本的支出 17億 2,502万円	簡易水道事業	収益的支出 1億 1,616万円 資本的支出 9,361万円
介護保険事業	63億 5,692万円	観光事業	5億 5,256万円		
訪問看護事業	1,393万円	下水道事業	24億 6,129万円		
農業集落排水事業	1億 8,069万円	土地取得事業	634万円		
農林水産業費	1億 8,069万円	後期高齢者医療事業	8億 78万円		
観光事業	5億 5,256万円	太陽光発電事業	2億 7,421万円		

**PICKUP ①**  
一般会計・特別会計・公営企業会計  
黒字もしくは収支均衡を維持

**Q** 平成28年度決算の特徴は。  
**A** 液状化対策事業が完了したため、関連する歳入歳出が大幅に減少しました。歳入は、東日本震災復興交付金、震災復興特別交付税が大幅な減となり、歳入総額は前年度より約53億円の減でした。歳出は、伊地山可燃物処理施設整備、小見川中央小学校大規模改修事業および小学校の空調設備設置事業等の完了、液状化対策事業に係る復興交付金基金の積み立てがなくなる等により、歳出総額も前年度と比較して約45億円の減でした。

**PICKUP ②**  
民生費歳出  
前年度比  
13億2,513万円の  
増加で13.22%増

**Q** 平成28年度民生費の歳出について、前年度と比較しているが、要因は。  
**A** 主な要因は、幼保一元化施設整備事業が「おみがわこども園」の整備で約10億1,400万円、臨時福祉給付金事業が年金生活者等臨時福祉給付金で約2億4,100万円、公的介護施設等整備費が「特別養護老人ホームかとり郷福楽園」の整備で5,500万円がそれぞれ増加したものです。

**PICKUP ③**  
スクールバスを  
通学以外の  
教育活動にも  
活用

**Q** スクールバスを児童生徒の通学以外の用途に利用できないのか。また、スクールバスを所有していない学校での使用は可能か。  
**A** 国の補助金を活用して購入しないうちに、スクールバスを所有している学校以外の学校が教育活動で使用する場合には、国の承認が必要となります。3台のスクールバスを所有する佐原中学校は、通学以外の教育活動に年間150時間程度使用しています。他の学校での使用には、登下校の支障にならない時間帯で使用するこや、運行委託契約の範囲内であることが前提であり、かつ国の承認が必要です。

**PICKUP ④**  
生活系の  
可燃ごみ  
164トンの  
減量

**Q** 可燃ごみ用のごみ袋が値下げされたが、可燃ごみの搬入量の推移は。また、雑紙などの紙類、プラマークの推移は。  
**A** 生活系の可燃ごみは、平成27年度1万4,839トン、平成28年度1万4,675トンで、164トンの減量となりました。紙類は、平成27年度1,085トン、平成28年度1,110トンで、25トン増加しています。プラマークは、平成29年4月から実施し、目標値の70%にとどまっています。